

令和6年度 第74回(春季)通常総会概要

全国公立短期大学協会（会長：柳沢幸治 大月短期大学学長）は、5月20日（月）に第74回（春季）通常総会をAP虎ノ門会議室（港区虎ノ門）において開催した。会場へは全14大学から学長・事務局長等29名が参したほか、Webでは6大学から9名が参加した。

総会は午前11時に開会し、柳沢会長の挨拶につづき、来賓の文部科学省高等教育局大学教育・入試課長古田和之氏からの挨拶の後、同課課長補佐中田幸志氏から「高等教育をめぐる文教政策について」今後の高等教育が目指すべき姿などの説明が行われ、続いて高等教育企画課企画官・室長の高見英樹氏からは「急速な少子化の中での高等教育の展望」について、この度の中教審の諮問に至った背景や今後の中教審特別部会での議論のポイント等について説明が行われた後、活発な意見交換が行われた。

総務省からの行政説明では、自治省自治財政局の財務調査課課長補佐の梅本祐子氏から「地方財政の課題等について」地方財政の現状、奨学金に関連する特別交付税や地方大学の取組に関する支援方策について説明が行われた後、熱心な意見交換が行われた。

「総会議事」では、会長に柳沢幸治氏（大月短期大学学長）、副会長に村井美代子氏（三重短期大学学長）及び阿部宏慈氏（米沢女子短期大学学長）が再任された。

「研究協議1」の学長の実践事例発表では、①大月短期大学の学長柳沢幸治氏及び②大分県立芸術文化短期大学の理事兼教務学生部長疇谷典洋氏から地域に根差した独自の取組について発表があった。

「研究協議2」では、村井副会長の司会で進められ、①短期大学の今後の役割、②短期大学の名称や学位の名称ほか9議題について活発な意見交換が行われた。

総会は、柳沢会長による総括と挨拶があり午後5時に閉会した。（了）

<以下、主な事項について掲載>

○今後の役員一覧

（令和6年5月20日通常総会からの任期）

役員名	短期大学名	職名	氏名	現在の任期
会長	大月市立大月短期大学	学長	柳沢 幸治	令和8年春季通常総会まで
副会長	三重短期大学	学長	村井美代子	令和8年春季通常総会まで
	山形県立米沢女子短期大学	学長	阿部 宏慈	令和8年春季通常総会まで
理事	岩手県立大学宮古短期大学部	学長	鈴木 厚人	令和8年春季通常総会まで
	岩手県立大学盛岡短期大学部	学長		
	倉敷市立短期大学	学長	安達 励人	令和8年春季通常総会まで

	静岡県立農林環境専門職大学 短期大学部	学長	鈴木 滋彦	令和8年春季通常総会まで
監事	岐阜市立女子短期大学	学長	畑中 重光	令和7年春季通常総会まで
	大分県立芸術文化短期大学	学長	小手川 大助	令和8年春季通常総会まで
理事 代理	旭川市立大学旭川短期大学部	学長	三上 隆	令和8年春季通常総会まで
	鹿児島県立短期大学	学長	飯干 明	令和8年春季通常総会まで

(注)下線は、新たな任期、又は新任者を示す。

○令和5年度末 事務局長表彰予定者

氏名	局長在職年月	功労	摘要
大月短期大学 事務局長 小林 令子	R4.4.1～R6.3.31 (2年在職)	会長校事務局長 R4.4.1～R6.3.31 (2年在職)	事務局長の表彰規程 (1)公短協会長校の事務局長として1年以上在職し、協会運営に尽力され功労のあった者。

○委員会報告事項

それぞれの委員から、配布資料に基づき報告された。

- (1) 大学ポートレートにおける取組状況等について (柳沢先生)
- (2) 令和7年度大学、短期大学等の卒業等予定者に係る就職について(阿部先生)
- (3) 全国学生調査の調査結果等について(安達先生)

○研究協議1 <学長の実践事例発表者>

- (1) 大分県立芸術文化短期大学 理事兼教務学生部長 疇谷憲洋
- (2) 大月短期大学 学長 柳沢幸治

○研究協議2 <各校等からの提案課題による協議>

- (1) 授業料の取扱いについて (旭川市立大学短期大学部)
- (2) 学外実習の担当コマ数について (旭川市立大学短期大学部)
- (3) 休退学者数の近年の動向等について (三重短期大学)
- (4) 入試二次募集におけるアドミッションポリシーとの整合性(鹿児島県立短期大学)
- (5) 「GIGA スクール構想」での学びを経験した生徒への対応について
(鹿児島県立短期大学)
- (6) 初年次教育(含、研究倫理教育)の取り組みについて (鹿児島県立短期大学)

- (7) 「短期大学」の名称について (正副会長会議)
- (8) 「短期大学士」の名称について (正副会長会議)
- (9) 短期大学の今後の役割と4大への編入学の対応方策について (正副会長会議)